

各 会 員  
各事業所（団体）長 様

福島県職業能力開発協会  
会 長 福 井 邦 顕  
(公 印 省 略)

「中堅社員研修」開催の御案内

本協会の事業運営の推進につきましては、日ごろから御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、企業を取り巻く環境が大きく変化している中で、環境の変化に対応できる人材の育成が強く求められており、特に各職場の核となる中堅社員をいかに育ててゆくかが大きな課題となっております。

このようなことから、県内の各企業における中堅社員の方々等を対象に、中堅社員としての自覚や職務遂行能力を身につけ、企業に必要な人材の育成を図ることを目的として、下記により「中堅社員研修」を開催することといたしました。

つきましては、演習やグループ活動を取り入れた実践に役立つ内容となっておりますので、是非とも御参加くださるよう御案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和3年10月19日（火）～20日（水）9：30～17：00（通学制）
- 2 場 所 福島県ものづくり支援センター（須賀川市並木町 153-1）
- 3 内 容 裏面カリキュラムのとおり
- 4 講 師 大原 百合 氏（大原社会保険労務士事務所所長）
- 5 定 員 25名
- 6 受 講 料 会 員 21,000円（税込み）  
非会員 24,000円（税込み）
- 7 受講対象者 各企業の中堅社員及び本研修の受講を希望する方
- 8 申込締切日 令和3年9月3日（金）

※定員になり次第、締切らせていただきます。

9 そ の 他

- (1) 別紙申込書に必要事項を御記入の上、郵送又はFAXでお申込みください。  
申込書は当協会ホームページからダウンロードもできます。  
(URL:<http://business2.plala.or.jp/fuvada/index.html>)
- (2) 昼食を御希望の方は、別紙によりお申込み願います。（2日分2,200円税込み）  
なお、受講料及び昼食代につきましては、申込締切日までにお振込みくださるようお願いいたします。（振込手数料につきましては、貴社にて御負担くださるようお願いいたします。）

銀行名：東邦銀行 県庁支店（普）1299628 口座名義：福島県職業能力開発協会
---

- (3) 受講通知につきましては、後日お送りいたします。（研修開催2週間前予定）
- (4) 申込締切日後の取消はできません。
- (5) 新型コロナウイルスの感染予防に配慮して開催いたします。
- (6) 今後の新型コロナウイルス感染の状況及び申込が少数の場合、止むを得ず中止することがあります。
- (7) 納入された受講料は、本協会の都合による開講中止等のほかはお返しできません。

(担当：能力開発課 安齊 電話 024-525-8681)

## 中堅社員研修参加申込書

令和3年 月 日

ふりがな 受講者氏名				性別 男・女
生年月日	昭和 年 月 日生 ( 歳) 平成			
受講者職名 及び勤務年数	職名		勤務年数	年
事業所名 所在地	〒			
連絡先	電話 ( ) - FAX ( ) -			
事務担当者 職・氏名				
昼食希望	有 ・ 無 *どちらかを○で囲んでください。(希望の場合2日分2,200円)			
会員区分	会員・非会員 *どちらかを○で囲んでください。	備考		

※参加申込書に記入いただいた個人情報は、本研修以外の業務には使用しません。

※会場周辺には食堂等があまりございませんので、昼食を申込まれない場合は持参されることをお勧めします。

提出先
〒960-8043 福島市中町8-2 福島県自治会館5F 福島県職業能力開発協会 (担当:能力開発課 安齊)
TEL 024-525-8681 FAX 024-523-5131

## 中堅社員研修カリキュラム

### ◇1日目

時 間	内 容
9 : 30 ~ 10 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション</li> <li>・ 自己紹介</li> </ul>
10 : 00 ~ 11 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業を取り巻く経済環境の変化を知る</li> </ul>
11 : 00 ~ 12 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場で活用できる 問題解決のための「KJ手法」を学ぶ</li> </ul>
12 : 00 ~ 13 : 00	昼 食
13 : 00 ~ 17 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ活動と発表 「中堅社員として今やるべきことは」から問題解決のためのKJ手法を活用したグループ活動を通じて、各人が問題意識をもって学ぶ なぜ、当事者意識が必要なのか 組織における自己の立場と役割 情報の共有化 コミュニケーションスキルの向上 自己表現 マニュアル厳守人材から変化対応型人材へ</li> </ul>

### ◇2日目

時 間	内 容
9 : 30 ~ 12 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インバスケットから学ぶ成果を出すための考え方</li> </ul>
12 : 00 ~ 13 : 00	昼 食
13 : 00 ~ 15 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループディスカッションと発表 「渚の愛情物語」から学ぶそれぞれの価値観、考え方</li> </ul>
15 : 00 ~ 16 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己のアクションプラン(行動計画)づくり (目標に到達するために)</li> </ul>
16 : 00 ~ 17 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修のまとめ</li> <li>・ レポート作成</li> </ul>

# 福島県ものづくり支援センター

須賀川市並木町153-1

※ お問い合わせは、福島県職業能力開発協会へ

福島県福島市中町8-2 福島県自治会館5階

TEL 024-525-8681 FAX 024-523-5131

当日のみ TEL 080-1809-0809

